

椎間板性腰痛に対する再生医療の実臨床 —間葉系幹細胞、PRP、培養上清液の特性と患者選択—

表参道総合医療クリニック
院長
田中 聡 (SATOSHI TANAKA)



【要旨】

椎間板性腰痛は、椎間板変性に伴う細胞外基質の破綻や炎症性サイトカインの増加など、複数の病態が関与して発症する。近年、椎間板機能を温存しながら疼痛改善を目指す治療として、間葉系幹細胞、PRP、幹細胞培養上清液などを用いた再生医療が注目されている。一方、それぞれ作用機序、製剤特性、臨床エビデンス、費用および品質管理上の課題が異なり、単純な優劣では評価できない。また、画像上の椎間板変性やヘルニアが必ずしも疼痛発生源とは限らず、神経根性疼痛や椎間関節性疼痛などとの鑑別も重要である。本発表では、各治療の特徴と現在のエビデンスを比較し、画像所見、変性度、症状および神経圧迫の度を踏まえた患者選択と治療法の使い分け、安全性、今後の課題について自験例を交えて考察する。

【略歴】

2010年03月 大阪医科大学 医学部医学科 卒業
2010年04月 湘南鎌倉総合病院 初期研修医
2012年04月 NTT東日本関東病院 脳神経外科
2013年04月 湘南鎌倉総合病院 脳神経外科
2020年04月 稲波脊椎関節病院
2020年12月 森山記念病院 脳神経外科 脊椎脊髄外科
2023年03月 表参道総合医療クリニック 開院

【所属学会・所属団体】

日本脳神経外科 専門医（日本脳神経外科学会認定）
脊椎脊髄外科 専門医（日本脊椎脊髄病学会認定）
日本脊髄外科認定医
再生医療学会



一般社団法人

国際抗老化再生医療学会
World Academy of Anti-aging & Regenerative Medicine